

SCOPE

VOL.
51

特集 >

Next Generation

次の時代を支える若き社会人たち

特集

Next Generation

次の時代を支える若き社会人たち

名城大学理工学部出身の先輩方に聞く
「文系」「理系」にとられない
新しい世代の働き方

株式会社豊田自動織機ITソリューションズ

本間 絢香さん

2019年3月 名城大学理工学部 数学科 卒業

大同メタル工業株式会社

辻 健太郎さん

2020年3月 名城大学理工学部 電気電子工学科 卒業

SCOPE vol.51

名城大学理工学部後援会 会報誌 2024「SCOPE VOL.51」

02
特集

Next Generation

次の時代を支える若き社会人たち

特集付録／働き方をめぐる100年

09 — 理工学部 2024

11 学科と教養教育の学びについて

15 — 理工ロマンの旅 vol.11

古代文明と江戸の下水道システム

17 — 理工学部から羽ばたく 卒業生インタビュー

18 — 理工学部後援会の活動

ご父母の要望に耳を傾け、学生本位の活動へ

19 — 理工学部後援会の活動 1

フレッシュマンセミナー

21 — 理工学部後援会の活動 2

ご父母のための進路セミナー

24 — A Day in the Life 学生的一天

25 — 理工学部後援会の活動 3

地区懇談会

29 — 理工学部後援会の活動 4

家庭教育支援セミナー／家庭に活かす心理学講座

31 — 理工学部後援会の活動 5

学生奨励表彰

33 — その他の活動紹介

34 — 事務局・相談窓口の紹介／令和6年度 名城大学カレンダー

<https://www.meijo-rikokoen.jp/>

名城大学理工学部後援会

検索



人事業務で生かす論理的思考力

当社は豊田自動織機の出資会社で、システム開発や運用、ITインフラ構築、製品組み込み開発などを行っています。私が担当しているのは新卒採用と新入社員研修です。新卒採用業務では、一年間の採用計画の立案や予算管理、選考設計などを行い、新入社員研修業務では、研修の全体企画や外部講師の手配、運営を担当しています。

もともと理工学部数学科でプログラミングについて学んでおり、就職活動にあたってIT業界でSE（システムエンジニア）を志望していました。選考中に人事採用の打診がありました。大きく異なる職種でしたので驚きましたが、SEのなかでもお客様とコミュニケーションをとりながら課題を解決する上流工程の仕事を志望していたため、人事業務でも人と話をしながら進めるという共通している部分を感じ、また一年目から人事に携われるのは良い経験になると考え、受けることにしました。

大学での学びからはかけ離れた仕事のように見えるかもしれませんが、新卒採用のスケジュールや予算を立てたりするときなど、目標に対する道筋をつけるときには数学科で培った論理的思考力が生きていて感じています。

※1 「上流工程」 案件に対する要求分析や設計など、システムを作る初期の段階を意味する。

Next Generation

株式会社豊田自動織機ITソリューションズ
本間 絢香さん

文理融合の

多様な知識が支える 問題解決力

当社には多くのSEがいますが、三割ほどは文系学部の出身で、二割ほどは情報系以外の理系学部の出身です。ITの会社ですのシステムを作るための情報系スキルは大切ですが、あくまでそれは手段であり、一番の目的はお客様の問題を解決すること。実務ではお客様との対話を通じて意図を理解する能力や、お客様の問題を整理して解決策を立案する力が求められます。

トヨタグループでは「現地現物」という考え方があり、実際にお客様の働いている場所まで出向いて、お客様の状況や問題を理解することが重要視されています。そのためには専門的なスキルだけではなく、社会全体の動向を理解することや経済学的な知識をもつことは重要です。SEに限らずどんな仕事であっても、文理を問わず幅広い視野を持つておくこと、きつと役立つときがあると思います。

苦手の克服が切り拓く

新たな可能性

最近では学生だけでなく社会人も、得意なことや好きなことを伸ばす傾向にありますが、特に若いうちは自分が苦手なことにも挑戦することが重要だと思っています。自分に向かないことは早めに見切りをつけるという考え方もありますし、向き不向きは見極める必要があります。しかし私としては、三年はその仕事に向き合いながら学び続けることで、いろんな点と点が繋がって見えてくることがあり、達成感ややりがいを感じられると考えています。

私自身、初めは採用の仕事を楽しめなかったのですが、プロジェクトリーダーを任せられた三年目くらいになると、その仕事の全体像が見えてきたことで魅力や貢献度を理解し、楽しさを感じるようになりました。また人事の中でも労務や法規などまだわからないことも多いので、さらに知識や経験を積むことももっと大きな採用全体の企画などに携わりたいという意欲も湧いてきました。

変化する社会における

キャリア形成

現代は不確実性の時代ともいわれ、社会人として将来のキャリアを考える際に、どんな能力が求められるようになるのか、わかりにくい状況です。私の経験でいうと一年目の終わり頃からコロナ禍に見舞われ、在宅勤務が増加し、社内コミュニケーションが取りにくくなるなど、働き方や就業環境に大きな変化がありました。特にIT業界はAI技術の発展もあり業務そのものの変化も激しくなると考えられ、数年先を正確に予測することが難しい状況です。これからの時代にどんな技術やスキルが求められるかを考えて情報収集や自己学習を積極的に行うことも必要ですが、与えられた仕事以外のことや苦手なことに挑戦することで経験の幅を広げ、変化に対応する柔軟性を身につけることが大切だと感じています。

※2 「不確実性の時代」

将来が予測しにくく、変動が特に多い時期を指す表現。経済・政治・社会・環境・技術など、さまざまな分野で予期しない変化が頻繁に起こり、個人や組織、国家が将来を計画する際に多くの困難に直面する状況を表す。パンデミックや地震災害などは記憶に新しい。また、高度なAIの登場もこれにあたる可能性を秘めている。

求められるのは

熱意を持って取り組む経験

人事の立場から求める人材として、問題解決力や論理的思考力、相手の意図を汲み取れるコミュニケーション能力は重要です。しかし、私がそれ以上に大切だと思っているのは熱意があることです。どれだけ技術があっても、それだけではお客様の気持ちはつかめません。「この人に頼みたい」と思ってもらうためには、熱意を持ってお客様の問題を理解し、当事者意識を持って仕事に取り組むことが大切だと考えています。

プログラミングなどのスキルは後から習得することができますし、問題解決力や論理的思考力については、たとえばトヨタグループにおける「トヨタ式問題解決手法」(Toyota Business Practice)のようなフレーム型の手法を繰り返すことで身につけることができます。しかし熱意というのは心の持ち方や行動によつて培っていくものだと思うので、学生の間に何かひとつ、熱意を持って取り組む経験をしてほしいと思います。

また学生の方からエントリーシートなどで、「どんなことを書いたらよいですか」という質問を受けることがあります。リーダーの経験も特別な個性もないということなのですが、それはそれほど重要ではありません。それよりも重視されるのは、その経験から得た考え方や取り組み方です。たとえば大学の研究やアルバイトなど、どういう思いを持って取り組んだのかを自分の言葉で話してみてください。

株式会社豊田自動織機ITソリューションズ

人事・総務部 人事課 人材開発グループ

あやか

本間 絢香さん

2019年3月 名城大学理工学部 数学科 卒業

幼少の頃からクラシックバレエを続けており、現在も発表会に出ることも。

社会人になってからは、丁寧な所作を身につけたいとの思いから茶道や華道を始めるなど、何事にも関心を持ち興味の幅を広めている。





大同メタル工業株式会社 辻 健太郎さん

品質監査で生きる 理系的思考力

当社は主に回転する軸や摺動する物体の荷重を受け止め、支える役目をする「軸受（ベアリング）」を製造する総合軸受メーカーです。軸受は大きく分けて、「すべり軸受」と「ころがり軸受」がありますが、当社は油膜で回転を支える、「すべり軸受」に特化しており、自動車をはじめ、船舶やダムなど、さまざまな分野で使用されています。シンプルな形状ですが、高いコアテクノロジーで業界内の信頼を得ています。

私が所属しているのは、品質管理を統括する品質企画室で、国内外のグループ会社の品質監査を行うほか、上層部への報告や資料作成、品質教育の講師を務めるなど、調整役を担っています。大学での学びが直接的に生きる部署ではありませんが、技術的な知識が役立つこともありますし、客観的な判断が必要ときには理系的な思考力が求められると感じています。

※1「摺動（しゅうどう）」すべらせながら動かし。

広い視野をもつことで 異なる価値観を受け入れる

現代は技術革新が急速に進む時代であり、コロナ禍のような予測できない出来事によって急激な変化が起こる可能性があります。そのため、異なる世代間での価値観や考え方の違いも大きくなるでしょうから、固定概念にとらわれず、お互いに寄り添ったりギャップを埋めたりすることが必要ではないでしょうか。先入観を持たずに広い視野を持つためには、経験してみることが大切だと感じています。

当社は海外にも多くのグループ会社があり、これまで出張を通じて色々な国を訪れてきましたが、そのなかで先入観が裏切られることも多々ありました。たとえば、イギリスでは駅で立ち止まるとすぐに周りの人が声をかけて助けてくれ、やはり紳士的な国のイメージ通りだと感じました。逆に、一般的にはあまり良いイメージを持たない国でも、実際に行ってみると、とても親切だったこともありました。

また、海外特有の考え方があるなど感じることもあり、それによって日本人特有の考え方に改めて気づかされることがあります。百聞は一見にしかずといいますが、学生のうちに海外に行ったり、海外からの留学生と交流したりすると、いろいろな価値観に触れられ視野を広げることには役立つのではないのでしょうか。

Next Generation

社会で求められるのは わからないことへの 取り組み方

コロナ禍以降のデジタル技術活用の流れもあって、品質企画室の業務とともにDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進にも個人的に取り組んでいます。DXの推進については、大学で学んできたプログラミングの視点が生きていていると思いますが、技術的なことや業務の進め方は、会社の方針に合わせたやり方が求められるため、実務的なことは一から学ぶことになります。社会に出てみると、どんな仕事でも専門分野や大学の学びがそのまま使えるようなことはまずないと感じています。私は学生の頃から、わからないことは友人や先生方に聞いて解決するようにしてきたので、業務のことも同僚や先輩社員に質問しつつ自ら工夫して進めるようにしています。わからないことに対する取り組み方は、それぞれの経験によって培っていくものだと思うので、いろいろなことに挑戦して成功も失敗も含めて体験を積んでおくことが大切だと思います。

※2「DX（デジタルトランスフォーメーション）」企業がAIやIoTなどのデジタル技術を活用し、社内業務を改善していくだけでなく、製品やサービス、ビジネスモデルそのものを革新し、競争上の優位性を確立すること。

興味の幅を広げて 未来の選択肢を増やす

学生の間は勉強に集中できる貴重な時間です。自分のやりたい専門については一生懸命勉強できると思いますが、苦手なことや面倒に感じることもそれによって得られるものを客観視してみると、将来役立つことがきつとあるはずですよ。

電気電子工学科では、レポートの書き方を学ぶ「理科系の作文技術」というちょっと変わったレポートが出されました。その課題では、たとえば目的をわかりやすく明記するというような、基本的なことをいろいろ叩き込まれました。これは当たり前のことのように思えますが、社会人として報告や連絡をするときや、会議を設定するときにも必要なスキルです。厳しい採点をされる課題でしたが、振り返ってみると重要な学びを得た経験でした。

またグループで一つのことに取り組むことも、多くの学びがあると考えています。いろいろな力を合わせて何かを達成することで、自分の専攻以外の知識を持つことや自分にはなかった考え方を知ることがいかに大切か、実感できると思います。専攻以外のことに興味が出てきたら、名城大学の場合は他学部の授業を受けられる制度が整っているで、どんどん学んでみてください。今後、就職活動をしていくなかでも、興味の幅が広がることで選択肢が増え、自分の適性が見えてくることもあると思います。

文理融合の思考で 多角的な視点を持つて働く

近年、大学では文理融合を掲げる学部が増えていると聞きますが、仕事の上ではほとんどの人が特に意識することなく文理両方の思考を使っているのではないのでしょうか。当社は工業製品のメーカーですが、社内ではいろいろな立場があり、理系的な思考だけではうまくいきません。たとえば設計者であっても、マーケティングの開発であれば、社会情勢からニーズを汲み取る必要がありますし、プロダクトアウトであれば社会に求められるシーズを見抜く目が求められます。

もちろん営業職でも、設計の意図や品質について学ばなければお客様に説明することができません。いずれにしても理系・文系のどちらかの思考だけでは成り立たないはずで、多角的な視点を持つことが必要です。

私自身、品質監査という立場上、現場の方から煙たがられるような存在なので、客観的な数字だけで判断するのではなく、関係構築のためのコミュニケーションを大切に考えています。その点では営業職っぽい働き方といえるかもしれませんが。

※3「ニーズ（Needs）／シーズ（Seeds）」シーズは市場や顧客が何を求めているかを示し、シーズはそれを満たすための技術やアイデアの可能性を示す。

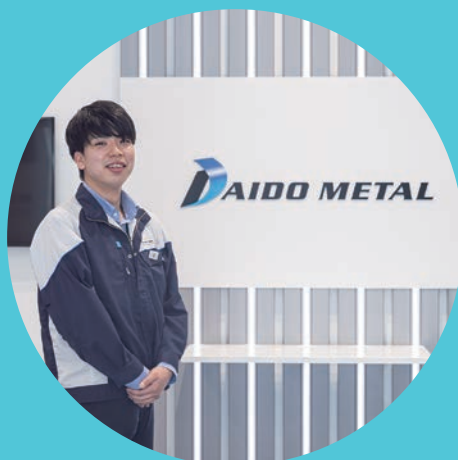


大同メタル工業株式会社
品質企画室

辻 健太郎さん

2020年3月 名城大学理工学部
電気電子工学科 卒業

スポーツ全般が好きで、休日は学生時代から続けているテニスや、社会人になって始めたゴルフなどでリフレッシュする。凝り性な一面もあり、おいしいコーヒーを求めてコーヒー焙煎のショップを巡ることも楽しみのひとつ。



働き方をめぐる 100年



新幹線
0系電車
photo :
のりえもん /
PIXTA

高度経済成長期 スピードの時代へ

高度経済成長がピークを迎えた1960年代。東京オリンピックに合わせて東海道新幹線が開通した。それまで6時間以上かかっていた東京-大阪間の移動は約4時間に短縮され、大都市間の日帰り出張が可能になり、働き方を変えた。

週休2日制の導入

日本で最初に週休2日制を導入したのは松下電器産業（現パナソニック）といわれている。松下電器産業は、仕事の生産性アップや「一日休養、一日教養」という目的のため、1965年に週休2日制を採用。他の企業でも1980年頃には本格的に定着した。厚生労働省の調査によると、1984年に完全週休2日制を導入していた企業は6.7%、完全週休2日制が適用されていた労働者の割合は27%にとどまる。



「八時間労働発祥之地」の碑
photo : 神戸市立中央図書館

1日8時間勤務の導入

1919年に川崎造船所（現川崎重工業）が8時間労働制を導入していたといわれている。神戸市には「八時間労働発祥之地」の碑がある。1916年施行の「工場法」を経て、1947年の労働基準法で1日8時間労働が規定された。

労働法制の変化

1938年には、「国家総動員法」が制定され、戦時体制を強化。労働者は国家の統制下に置かれ、ストライキや労働組合活動が制限された。しかし、この法律は、労働時間の規制や女性労働者の保護など、労働条件の基準を定める基盤となった。

第二次世界大戦
1939年-1945年

日中
戦争

1940
年代

1930
年代

世界
恐慌

満州
事変

1920
年代

第一次世界大戦
1914年-1918年

世界恐慌と 戦争による混乱

1930年代初頭、世界恐慌の影響を受けて日本経済も大きな打撃を受けた。失業率が高まり、賃金が低下。1931年の満州事変と、その後の日中戦争の勃発は、軍需産業の拡大をもたらし、一部の工業分野では労働力の需要が高まったが、一般の労働者の生活水準は厳しいものだった。

有給休暇取得が義務化

1947年の労働基準法で有給休暇が初めて導入され、所定労働日が週5日以上に者に年次有給休暇を付与することが規定された。当時の最低付与日数は6日と定められたが、1988年の国際条約などの日数引き上げに応じて、最低付与日数が10日に増加した。

高度経済成長期の
はじまり

1960
年代

1970
年代

オイルショック

東京オリンピック

終身雇用と 年功序列制度の定着

この時期、終身雇用制度や年功序列制度が定着した。第二次世界大戦前から原型となるいくつかの制度があったが、戦争により一時衰退した。経済成長期には労働力不足の対策として、労働者を長期的に雇用し、年功に応じた昇級や退職金支給などを含んだ終身雇用制度が一般的となった。

バブル景気とモーレツ社員

1980年代中頃から好景気が訪れ、企業間の競争が激化。深夜まで長時間働く人々が増加し、「モーレツ社員」や「企業戦士」などと呼ばれた。会社への忠誠心が高く、自らの健康や家庭などを犠牲にしてがむしゃらに働いた。夜になるとサラリーマンたちは街へ繰り出し、取引先の接待や同僚・上司との「飲みニケーション」を盛んに行った。



盛んに投機取引が行われた昭和の東京証券取引所
photo : ひろし / PIXTA

リゲイン

「24時間戦えますか」

1980
年代

バブル
崩壊

Windows
95



ポケベルに振り回される サラリーマンたち

1980年代後半から1990年代前半にかけてポケットベル（ポケベル）が普及。当時は家や職場にある固定電話からでなければ連絡ができなかった時代だったが、ポケベルによって外回りの営業マンとも連絡が取れるようになった。これにより、平日昼間の公衆電話は奪い合いの状況にあった。

いざなぎ景気からオイルショック そして、労働者のストライキ

1970年代初頭に、日本経済は「いざなぎ景気」と呼ばれる高度成長を経験したが、1973年の第一次オイルショックによりインフレ率が上昇する結果となった。多くの企業で経営が厳しくなり、失業率が上昇し労働運動が激化した。経済成長の恩恵が一部の労働者に限られていたこと、そして労働条件の改善が十分ではなかったことから、多くの労働者が権利向上を求めてストライキやデモなどの活動を行った。

時間や場所に縛られない ノマドワーク

公衆無線LANや高速モバイルデータ通信と、フレックスタイム制の導入など、各企業ごとの柔軟な働き方が拡大。カフェやレンタルスペースなどオフィス以外でも働くことが可能に。「ノマドワーク」と呼ばれる、場所や時間に縛られない働き方を選ぶ人が現れた。2019年には「働き方改革関連法」が施行。生産年齢人口の減少と働き方の多様化に対応するため、年次有給休暇の取得義務化や時間外労働の上限規制などが適用された。

高度なAIとともに 人はどう働くのか？

2022年、OpenAI社のテキスト生成AI「ChatGPT3.5」がWebサービスとして公開。世界中、あらゆる企業・業種で活用されている。将来的には、ほとんどの職能がAIに置き換わるといわれており、労働の意義を問われている。

2030
年代

2020
年代

パンデ
ミック

東京オリンピック

2010
年代

iPhone
日本発売

リーマン
ショック

2000
年代

ウィズコロナで働き方が激変

令和に入り世界的に大流行したコロナウイルスにより、働き方は大きく変化した。接触を避けるために「テレワーク」の必要性が高まり、自宅やサテライトオフィスにいらながらも仕事ができる環境を推奨する企業が増える。テレワークが広まったことにより、自由度の高い働き方が定着しつつある。



パンデミックによって
テレワークが普及
photo : y.uemura / PIXTA

就職“超”氷河期と派遣労働者

1990年からのバブル崩壊後、さらなる金融不安やITバブルの崩壊から景気はより悪化し、企業の新卒採用枠が大幅に絞られた。この時期に就職活動をしていた世代では、多くの新卒者の就業が困難となった。2000年の求人倍率は1を下回っていた。また、1999年の派遣対象業種の拡大により、若者の派遣労働者が増え、のちに労働者の使い捨てなどが社会問題になった。



1970年の大阪万博会場「太陽の塔」
photo : もみじ496 / PIXTA



情報工学科

2022年度以降学生募集停止
2022年4月「情報工学部」開設

社会のさまざまなシーンを情報でつなぐ 創造的なエンジニアに。

現代社会において、情報技術は理工系のみならず文系に分類される分野も含めて、ありとあらゆる分野と密接につながっており、情報技術者は社会のさまざまなシーンでの活躍が期待されています。卒業後は、情報技術により社会の期待に応えられる、創造的なエンジニアを目

指して欲しいと願っています。情報技術者育成の社会的な要請に応えるべく、本学科を改組する形で2022年4月に情報工学部が設立されましたが、本学科で積み重ねてきた教育研究は情報工学部の基盤そのものであり、発展的に引き継がれていきます。

学科長 柳田 康幸



研究室紹介 寺本 篤司 研究室

医療の現場との連携体制で、医療向けAI開発に挑む。

寺本研究室では、医療向けのAIの開発を行っています。一例としては、AIを用いてCTスキャンやレントゲン写真を解析することによって病気を発見し、さらにその治療方法の選択や治癒の予測などといった、医療に関する情報処理を研究しています。寺本先生が所属していた藤田医科大学との提携があるため、豊富な臨床データを入手することが可能であり、医療現場の医師の声を聴く機会も豊富です。薬学部・藤田医科大学との連携による「メディカルAI研究センター」も設置され、医療の現場に貢献できる研究が進んでいくことを期待しています。



電気電子工学科

電子・機械・情報の最先端の学びから 自分が進むべき道を見つけ深耕する。

本学科は、太陽光発電などエネルギーに関する研究から、電子デバイス・電池に関する研究、ロボットやAIに関する情報系の研究、さらには、生命の根源に迫るライフサイエンス分野までを幅広くカバーしています。様々な分野で世界的に活躍している研究者が教員をしてい

ますので、最先端の知識と情報を身につけることができます。就職先は、電気電子分野はもちろん、機械分野や情報分野にまで多岐に渡りますが、大学院への進学を希望する学生も多く、研究開発者となって世界で活躍することも夢ではありません。

学科長 熊谷 慎也



研究室紹介 小林 健太郎 研究室

新しい通信技術の研究に取り組み、通信社会の発展を目指す。

小林研究室では照明やディスプレイのLEDを送信機とし、室内カメラやスマートフォンカメラのイメージセンサを受信機とする可視光を用いた無線通信技術や、ロボット・ドローンに無線で遠隔制御する無線通信技術を研究しています。可視光通信は人の目に見える可視光線帯域の電磁波を用いた無線通信のことで、指向性が鋭く情報漏えいの心配がない高いセキュリティ性、また人体に安全な通信技術としても注目が集まっており、学生たちもこうした新しい技術の実現に向け、自主性を持って研究に取り組んでいます。



教養教育

思考力の 土台となり 自己研鑽の糧となる 学びの数々。

教養教育長 中村 栄造

名城大学理工学部は、優れた研究力と教育力を有した学部です。教養教育は専門性の高い分野へと挑む学生の皆さんの思考力の土台となり、理系人としての道を歩む学生が自己を構築するうえでも極めて有効です。そして、語学・人文社会科学、物理、化学、地学、体育といった教養教育の学びの場がしっかりと用意されていることも、血の通った教育を大切にする名城らしさです。大学生時代にしか経験できない、純粋な学びの時間を大切にしてもらいたいと思います。



理工学部2024

11学科と教養教育の学びについて



優秀な教授陣と 屈指の教育環境を土台に 自らの進む道を切り拓いていく 研究者・技術者を育成します。

名城大学理工学部 学部長 児玉 哲司

理工学部には、ノーベル賞受賞者である研究者をはじめ、各分野で活躍する優秀な教授が揃っています。さらに、複数の研究実験棟、演習や実験・制作のためのテクニカルセンターを備え、学生が世界レベルの研究開発に携わる機会も用意されています。また、情報系の学修を強化すると同時に、人格的にも優れた研究者・技術者の輩出に向けて、教養教育にも重きを置いている点も特長と言えるでしょう。学生みなさんには、与えられた課題を受動的にこなすだけではなく、何事に対しても興味を持ち、失敗を恐れず“まず、やってみる”姿勢を大切にし、自らの手で新分野を創造的に切り拓く技術者・研究者を目指していただきたいと思います。



数学科

国内屈指の学習環境を土台に 人生の礎となる「考えること」と向き合える場。

数学科は前身の名古屋専門学校であった頃から設置されていた伝統ある学科で、日本の私立大学の数学科としても屈指の規模を誇ります。代数学・幾何学・解析学・数理情報・計算機科学の5分野をカバーする第一線で活躍する研究者が教育を担い、数学を通して“考えること”

の大切さも学んでいきます。数学は諸科学の言語となることから、将来活躍できる業種も非常に幅広く、様々な企業や公務員、教員といった就職はもちろん、名城大学や国立大学の大学院に進学し、修士号・博士号を目指す学生もしっかりとフォローします。

学科長 前野 俊昭



研究室紹介 伯田 恵輔 研究室

人生の土台となる、論理的思考を養う場に。

計算代数幾何学や数理的暗号理論を軸に、図形の性質を現す数式を解明していく研究室です。数学が好きな学生たちが高性能の計算機を備えた充実した環境で日々、数学と向き合い、志を同じくする仲間と数式を解明しています。数学は実生活とかけ離れているように思われがちですが、実は社会生活において極めて有益な論理的思考を養うことができる学問です。研究者、教員、企業等、進路は様々ですが、論理の積み重ねによって数学を深く理解していく姿勢は、これからの人生にきっと役立つことと思います。



機械工学科

多岐にわたる分野の土台となる 機械工学の基礎教育を徹底。

機械工学は、自動車・鉄道・飛行機・工作機械・ロボット・医療・環境・エネルギーなど、世の中のほとんどすべてのモノとサービスにかかわりを持つ分野であり、将来活躍する分野も多岐にわたります。そのためにも、1・2年次には考え抜く力＝知的体力を身につけるため

の基礎の習得を徹底しています。3年次からは、構想・仕様設計から製作・評価までを1年かけて学生自らの手で進める「機械設計・製作」に取り組みますが、研究発表の機会を複数回設けることで、プレゼンテーション能力も育んでいきます。

学科長 大島 成通



研究室紹介 中西 淳 研究室

産業や社会の発展を牽引するロボット工学の研究。

中西研究室では、ロボットの遠隔操作・運動学習制御・知能化といったロボティクス（ロボット工学）の研究を、理論とハードウェア・ソフトウェアの両面から取り組んでいます。特に、力学的観点からのロボット制御アルゴリズムの開発に注力し、産業や社会の現場等での活用を目指した動作生成の研究を行っています。さらに、ダイナミックな動きをロボットで実現するための研究も、テーマの一つに据えています。学生たちは将来、研究者・技術者として自発的に問題解決に取り組むための土台として、主体的に研究に取り組む姿勢を身につけていきます。



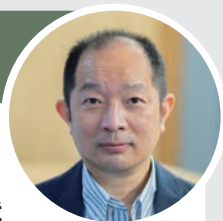
交通機械工学科

工学的センスを磨く実感教育で 想像力と人間性豊かなエンジニアを育成。

本学科では、自動車、航空宇宙機、鉄道車両などの交通機械に関連した設計・製作・制御を通して、機械工学を総合的に学びます。実験実習を積極的に行う「実感教育」を1年次から取り入れて、エンジニアとしての工学的センスを磨くことにも注力し、機械工学の基礎学力と

応用技術を身につけていきます。大学としては数少ない鉄道車両分野の学びも充実しています。本学科を通じて、グローバルな視野を持ち、人命に深く関わる安全・環境などの社会のニーズに応えることができる、創造力と人間性豊かなエンジニアを目指して欲しいです。

学科長 西村 尚哉



研究室紹介 相馬 仁 研究室

自動運転車の安全走行に不可欠な自動衝突回避システムを研究・開発。

自動運転を叶える車両開発が進む昨今ですが、車両が自動で走って終わりではなく、そこに、突発的なアクシデントに対応する制御機能が完璧に働いてこそ、はじめて安全な乗り物となります。相馬研究室では、この自動衝突回避システムに特化した研究・開発を進めています。高性能なドライビングシミュレーターや公道を実走できる電気自動車を保有し、設備面も大学としてはトップクラスの充実度を誇ります。研究室の学生の多くが大学院に進学しますが、クルマ社会の未来を創っていくという自負を持って、日々研究に取り組んでいます。



材料機能工学科

次世代を拓く新素材に光を当て、 持続的発展可能な社会に寄与する。

最初の産業革命は鋼という素材の実用化に端を発し、AIの驚異的な進化は高度な情報処理を実現する材料技術の確立が礎となっています。本学科では、種々の材料の機能性や構造に関して基礎から応用に至る領域を学びますが、大学院への進学率は地方国立大学に引けを取

りません。これは、学生の“学びたい”という欲求に応える体制が整っているからといえます。種々の製品やシステムに変革をもたらす環境問題の課題解決に寄与できる能力と共に、自発的に研究に取り組む姿勢を育てたいと思っています。

学科長 宇佐美 初彦



研究室紹介 竹内 哲也 研究室

半導体材料分野において、世界レベルの成果を追求。

名城大学終身教授・特別栄誉教授赤崎勇先生の流れを引き継ぎ、大学としてトップレベルの研究設備を活用して、新しい半導体光デバイスの研究を推し進めています。昨年度、映像・車両・通信・医療など様々な分野での応用が期待される窒化ガリウム紫色面発光レーザーにおいて、20%を超える電力変換効率（世界最高値）を叩き出しました。本研究室の学生が主体となって実証した快挙です。このように、大学院へ進学した多くの学生が世界レベルの新しい研究を遂行しながら、自身の能力も高めていくという教育と研究の両輪を日々実践しています。



応用化学科

高度な研究に携わるための化学の基礎を 身につけたグローバルな人材を育成。

化学に基盤を置いた材料開発の新しいテクノロジーを追求する応用化学科では、「合成化学」「物質・材料化学」「環境・エネルギー材料」の3つの領域を設定し、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を育成します。高度な専門的知識と問題解決能力・コミュニケーション能力

の習得に向けた教育と研究を進めていく中で、「実験実習を通じた化学現象の体験」を重視した教育にも積極的に取り組むと同時に、国際性を有した技術者・研究者として活躍してもらいたいとの考えから、海外の提携校との交流も盛んです。

学科長 丸山 隆浩



研究室紹介 谷口 彩乃 研究室

応用化学に携わる研究者・技術者としての素養をレベルアップ。

合成化学や錯体化学の知識と技術を基に、特徴的な形状や構造をもった様々な無機材料を設計・合成する研究室です。主に、金属酸化物や合金などの無機ナノ粒子材料を取り扱います。そのような無機物質は、三次元的な無機高分子材料とみなすことができるので、その「かたち」は材料の性質・機能に強く影響するはずですが、本研究室では物質のかたちを追求することで、そのかたちに由来する新しい機能の開拓を目指しています。2024年度スタートの新しい研究室ですが、学生の課題解決力を養う場となるよう日々の研究活動に取り組んでいます。



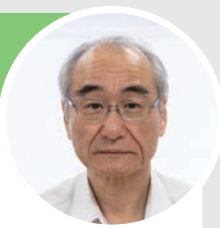
環境創造工学科

身近な環境から地球環境まで 社会のニーズに先駆けた学問領域を網羅。

日本はもちろん、世界規模で環境問題がクローズアップされている今、環境創造工学科はまさに必要不可欠とされる分野を紐解く学科です。本学科では、「地球環境の保全」「自然環境に関する諸問題」「生活環境の快適性」の3つの学問分野を軸に、身近な環境から

地球環境まで、時代に先駆けた多岐にわたる充実した学びのプログラムを整えて、持続可能な経済社会システムの構築に貢献し、社会に広く求められる人材として第一線で活躍できる技術者・研究者の育成を目指します。

学科長 日比 義彦



研究室紹介 武藤 昌也 研究室

環境とエネルギーに関連する現象を物理的視点から解明。

武藤研究室では、環境に負荷を与える物質の低減に関する研究、バイオ由来燃料等の石油代替エネルギーの燃焼現象に関する研究、身の回りの流体抵抗低減に関する研究をはじめ、広く環境とエネルギーに関連する現象の物理的解明に取り組めます。また、代替エネルギーの研究と同時に、エネルギーの熱特性といった実験でしか得られなかったデータを数値シミュレーションによって導き出すためのプログラミングの開発にも取り組んでいます。実験・研究を通して、研究者や技術者としての基礎を身につけ、自分の目指す分野で役立ててもらいたいと思います。



建築学科

主体性を持って多様な人々と協力し 活躍できる建築技術を育成。

本学科では、「居住性・安全性・審美性・環境調和性を重視した空間創造」のための基本的能力の獲得を目標に掲げ、建築学の各専門分野の学びの他にも、工学の基本知識の習得、語学力及び幅広い教養と芸術の感性を身につけるための、国際的なワークショップも取り入れ

ています。社会インフラの老朽化・高齢化といった社会問題の解決や防災・減災の一助となる提案力を持つ人材として、生涯にわたり自律的に活躍して欲しいと思います。本学科卒業生には一級建築士受験資格が与えられます。

学科長 武藤 厚



研究室紹介 高橋 広人 研究室

地震が地盤に与える影響を解析し、より安全な都市環境の土台に。

高橋研究室では、地震の揺れやそれに伴う防災をテーマにしています。地震に対してどのように建物の安全性を確保するか検討できるような視覚的情報を、建物を建てる土地をセンサーで計測することで得られるようにする研究を行っています。また、他大学と共同で、乗用車のエアバッグに用いられる加速度センサーを地震時の震度測定に利用するための研究も進めています。地震をはじめとする自然災害に対して安全・安心な社会を形成するために必要な分野として、研究室の学生たちも自己研鑽を重ね、研究に取り組んでいます。



メカトロニクス工学科

機械・電気・情報処理を俯瞰的視点で捉え 各分野に精通した技術者・研究者に。

製品開発等を取りまとめる存在でもあるメカトロニクス技術者は、機械・電気・情報処理を個別に学ぶだけではなく、統合したシステムを構造的・俯瞰的視点で捉えることが求められます。本学科では、これらを融合したシステムを構築し、要素技術から機能設計までの理解

を深めるためのカリキュラムを段階的に学んでいきます。将来は機械系製造業を中心に、医療機器関係も含めた様々な分野が活躍の場となりますが、在学中は、人との創造的対話や議論の時間も大切に、豊かな人間性も育んでもらいたいと考えます。

学科長 関山 浩介



研究室紹介 井上 真澄 研究室

電気・機械による高次元のメカトロニクス・システムを探索。

井上研究室では無線利用技術、電気電子材料・デバイス技術などの観点からメカトロニクス・システムの高度化を目指す研究に取り組んでいます。研究テーマの核となる無線電力伝送は、電気エネルギーの供給方法として電源と機器の間を無線で繋ぐもので、有線給電の場合のケーブル取り回し、コネクタでの接触不良やバッテリー持続時間の問題などを解決する技術として、これからますます期待がかかる分野です。実験・研究を進める中で、失敗を恐れず粘り強く取り組む姿勢、自分で考え自分の手と頭を使って検証していく習慣を身につけて欲しいと思います。



社会基盤デザイン工学科

実践力と知的体力を身につけた シビルエンジニアを育成。

本学科では、多角的な視点から安全・安心・快適な社会基盤をデザインする実践力と知的体力を身につけた、まちづくりのスペシャリスト＝シビルエンジニアの育成に向け、都市計画や防災計画といったソフトデザインから、橋や道路などのライフラインにおける設計・建設・

維持管理といったハードデザインまでを段階的に修得していきます。多くの卒業生が、国土交通省や愛知県庁、名古屋市役所などの地元の技術系公務員、民間企業では、ゼネコン・設計コンサルタントなど幅広い業種に就職して、活躍しています。

学科長 渡辺 孝一



研究室紹介 岩下 健太郎 研究室

インフラの土台となる、鉄筋コンクリートの補強・設計を極める。

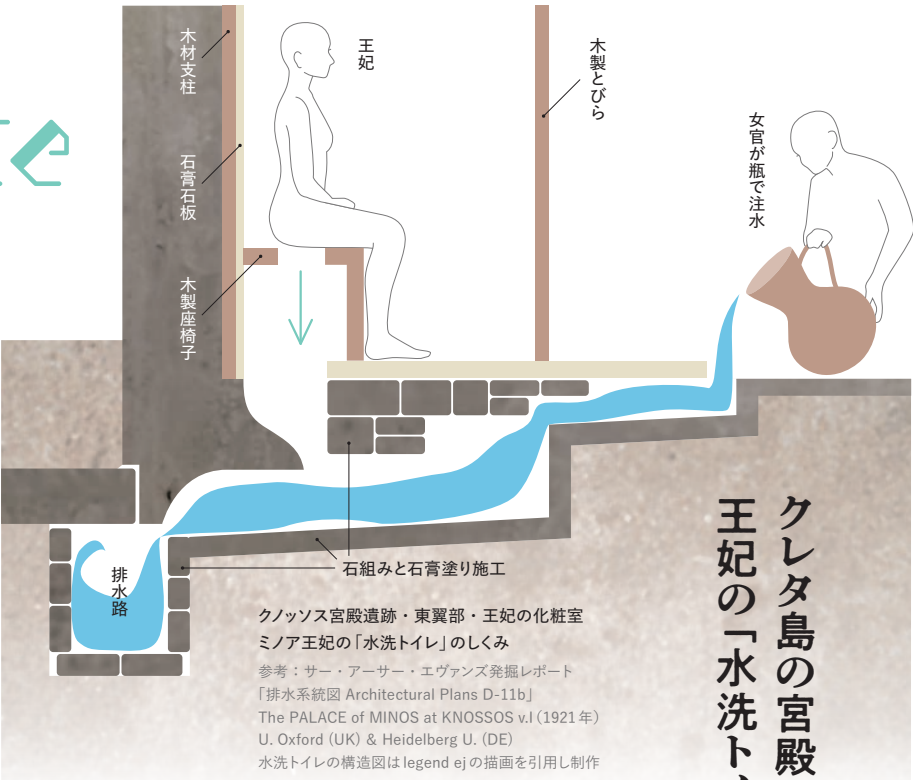
高速道路や橋梁、トンネルといったインフラ施設や、建設材料として必要不可欠なコンクリートの補修・補強についての実験・解析を行う研究室です。耐久性に優れた鉄筋コンクリートも様々な環境要因等の影響で長期的には劣化します。そこで、本研究室ではコンクリートの耐久性等を検証する実験を交えて、FRPと呼ばれる強化プラスチックを使った構造補強技術をより効果的に利用するためのシミュレーションや理論計算、補強設計に取り組み、実験データと合わせて深く考察し、様々な現場で役立てられるよう日々、研究を重ねています。



Crete

クノッス宮殿は古代ミノア文明の中心地で、紀元前2000年頃にクレタ島に建設される。この巨大な建造物は、複雑な多階層建ての設計、壮大な階段、美しいフレスコ画で知られ、宗教的儀式や行政の中心として機能した。迷路のような設計は、ギリシャ神話のミノタウロスの迷宮にインスピレーションを与えたといわれている。高度な衛生設備も備えており、早期の下水道システムや流水式トイレが存在したことが考古学的発掘で明らかになっている。

Photo : Dziewul / PIXTA



クノッス宮殿遺跡・東翼部・王妃の化粧室
ミノア王妃の「水洗トイレ」のしくみ
参考：サー・アーサー・エヴァンズ発掘レポート
「排水系統図 Architectural Plans D-11b」
The PALACE of MINOS at KNOSSOS v.I (1921年)
U. Oxford (UK) & Heidelberg U. (DE)
水洗トイレの構造図は legend ej の描画を引用し制作

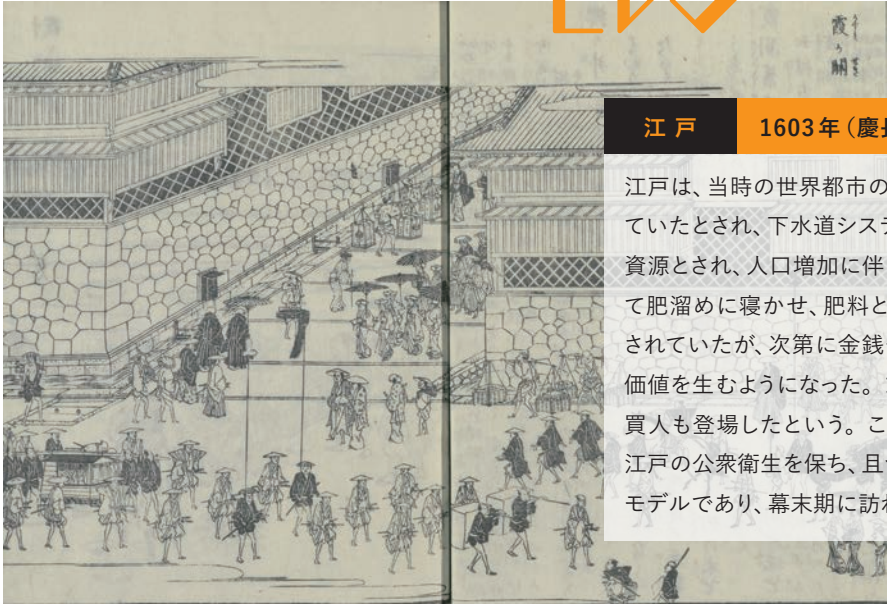
クレタ島の宮殿には
王妃の「水洗トイレ」があった

クノッス宮殿

紀元前2000年頃～(クレタ文明／ミノア文明)

クレタ文明は、エーゲ海南部に浮かぶ島に栄えた文明。クレタ文明期に建立されたクノッス宮殿では、精巧な水供給システムとともに、排水を効率的に処理するための下水道システムが存在していた。下水道には、石造りや石膏塗りの排水管が用いられ、このシステムにより、宮殿や貴族たちが住む居住区の衛生状態を向上させ、快適さを保っていたと考えられている。

Edo



霞ヶ関の大名屋敷の石垣に沿って下水が流れている。石垣についている黒い屋根付きの小箱が排水口。下水というと、悪臭が漂うというイメージがあるが、水質汚染につながるような洗剤や化学物質はまだ存在しない。うえ、糞尿を汲み取り式にして、下水には流さなかったことで悪臭が抑えられていた。

Photo : 「江戸名所図会」国立国会図書館蔵

汚穢屋(おわいや／おあいや)は
天秤棒で肥桶を担ぎ、肥柄杓(こえびしゃく)を携えて
糞尿の回収をする人や職業を指す。

Photo : 「汚穢屋」世渡風俗画會 清水晴風



江戸時代には世界に先駆け
資源の循環システムが
確立していた

Mohenjo-daro



Photo : takeshi / PIXTA

モヘンジョダロ

紀元前2600年頃～紀元前1900年頃の成熟期(インダス文明)

モヘンジョダロの下水道システムは古代文明の中で最も計画性が高いものとされ、耐久性に優れた材料を用いて雨水と家庭の排水を管理していた。個別の浴室から直接下水に流れる構造は、都市の衛生状態を向上させ疫病を防いだとともに、清掃しやすい設計だったということは驚くべきことである。定期的なメンテナンスを容易にし、長期的な機能維持を目指す思想は、現代に通ずるものがある。



Photo : yzw / PIXTA

モヘンジョダロ遺跡には
より高度化した
下水道システムがあった

古代から現代にかけて、下水道システムは生活の快適性や
公衆衛生に欠かせない最も重要なインフラとして発展してきました。
その驚くべき技術と功績について探ります。

古代文明と江戸の
下水道システム

BABYLON



1932年当時のバビロンの様子。バビロンは1899年から1917年に渡り、ドイツ隊によって発掘が行われた。

Photo : アメリカ合衆国議会図書館収蔵(パブリックドメイン)

Ur



バビロン

紀元前1800年頃～(メソポタミア文明)

現在、最も古い下水道として知られているのは古代メソポタミアの都市「ウル」や「バビロン」の遺跡とされている。バビロン(現在のイラク)は古代メソポタミア文明に栄えた都市のひとつである。チグリス川とユーフラテス川の潤沢な水源を利用した水路などが建設され、効率的に水を管理していた。これらの水管理システムは、田畑を潤し農業を発展させた。また、水路の建設は河川の氾濫からなる洪水対策にも寄与していたといわれている。驚くことに当時の家庭の排水設備や污水处理、公衆衛生についても考古学のおよび文書証拠を発見しているという。

ウル

紀元前4000年頃～(メソポタミア文明)

紀元前4000年頃から発展した都市「ウル」(現在のイラク)は、雨水の排水や灌漑などの水管理システムが発達していた。これらのシステムは、農業の効率化にも寄与していたと推測されている。 Photo : M.Lubinski. Jan van der Crabben from Flickr.



理工学部から羽ばたく

卒業生インタビュー

より一層研究テーマを深掘りし、
社会に貢献できる研究成果を
残していきたい。

進学

名城大学大学院理工学研究科
高根沢 愛梨さん
(応用化学科卒業)

在学中は、有機化学の分野の中でも、高分子材料についての研究を主に行っていました。研究テーマを深掘りしていきたい、そして、よりレベルの高い研究職に就きたいという考えから、大学院への進学を決めました。大学生活は、他の学科の人たちと積極的に交流することも心掛けました。私はバスケのサークルに入っていました。私生活は、思いっきり楽しんで視野を広げたことは、きっと将来役立つと思っています。高分子材料は化粧品や食品をはじめ、様々な分野で注目される素材です。大学院で研究を重ね、研究者として人々の暮らしに役立つ成果を残していきたいですね。

Congratulations!



令和五年度
名城大学卒業式



令和6年3月18日、令和5年度の卒業式が
ドルフィンズアリーナで挙行されました。

就職

株式会社ダイセキ
中村 公哉さん
(環境創造工学科卒業)

高校時代から環境問題について興味を持っていて、大学でもこの分野に進みたいと考えていました。大学生活は勉強第一で、授業の他にも、公害防止管理者・危険物取扱者といった資格取得にもチャレンジし、在学中に資格を取得できたことは、大きな成果でした。将来は大学で学んだ知識を土台に、少しでも環境問題が改善されるように貢献していきたいです。株式会社ダイセキは、産業廃棄物の処理を通して持続可能な社会づくりに取り組む会社です。そこで、「中村に任せておけば大丈夫」と、会社からもお客様からも信頼される技術者になることを目標に頑張ります！

環境問題のプロフェッショナルとして
会社からもお客様からも
頼りにされる存在に！



理工学部 後援会の活動



令和6年度会長に思いがけなく選出され、会長に就任いたしました神谷でございます。後援会会員ご父母の代表として、微力ながら、会の発展に尽力し、さらに学部・大学への貢献ができたらと考えております。会員各位のご協力をお願いいたします。

令和6年度会長に思いがけなく選出され、会長に就任いたしました神谷でございます。後援会会員ご父母の代表として、微力ながら、会の発展に尽力し、さらに学部・大学への貢献ができたらと考えております。会員各位のご協力をお願いいたします。

令和6年度会長に思いがけなく選出され、会長に就任いたしました神谷でございます。後援会会員ご父母の代表として、微力ながら、会の発展に尽力し、さらに学部・大学への貢献ができたらと考えております。会員各位のご協力をお願いいたします。



名城大学理工学部
後援会会長
神谷 浩基

後援会の基本姿勢

学生への支援第一主義

あくまでも学生への支援を第一に考えております。そして次にご父母への還元、さらに理工学部の教育・研究への援助を基本としています。

ご父母と大学・学部とのパイプ役

大学や学部とは連絡を密にして、協調し、ご父母と大学・学部との間のパイプ役となります。また、さまざまな行事を通じて在学中のご子弟に対する不安を解消することを目指していきます。

ご父母の目線での活動

常に会員であるご父母の目線で、またご父母の要望に耳を傾け、活動に反映していくことを目指しています。

理工学部に関係する諸団体との連携強化

理工同窓会・技術士会等、諸団体と連携を密にして、後援会活動の多角化を図ることを目指しています。

後援会の組織図

令和6年度理工学部後援会専門担当委員会 会長 神谷 浩基

企画担当委員会

役割 後援会を運営するための予算編成と事業計画を推進する

- 予算編成 ● 会則 ● 定期総会
- 地区懇談会 ● フレッシュマンセミナー
- ご父母のための進路セミナー

委員長 澤田 知希 副委員長 山田 尚之
委員 古田 貴幸 戸上 聡 川島 信行
池田 一成 北河 涉 大脇 宏太 松浦 太造
早川 信宏 竹下 吉次 祖父江 崇 小久保 竜彦
石川 隆治 成田 雅哉 伊藤 一寛 尾崎 竜司
渡辺 伸幸 平本 亨嗣

編集担当委員会

役割 後援会自主活動の報告並びに学部の状況を会員に周知させる

- 理工学部紹介DVDの制作について
- 後援会会報誌「Scope」の発行について
- 後援会ホームページの制作について
- 個人情報保護について

委員長 山口 忠徳 副委員長 丹羽 泰仁
委員 木場 勤 山下 智 名和 裕城
清水 勝吾 川口 恭史 古谷 博信 小川 智哉
落合 伸介 久保田 敏行 鈴木 哲也 長谷川 正樹
千田 清隆 松長 克治 今泉 博章 木村 義昭
高濱 克明

福利厚生担当委員会

役割 後援会として学生に援助し得る福利厚生事業を推進する

- 学生育英救済制度実施
- 災害見舞金制度実施 ● 学生奨励制度実施
- 家庭教育支援制度実施 ● 学生課外活動援助

委員長 関 克彦 副委員長 北河 義明
委員 加藤 久視 深見 佳弘 奥石 将次
小川 孝 本杉 武 山下 勝紀 荒居 昭治
幅田 正明 川上 憲史 森下 和一 早川 智太
中村 昌広 飯田 将行 吉田 憲彦 松原 功治
吉本 充

フレッシュマン セミナー



良き友と出会い
思考と議論を深め合う

対象者
理工学部
新入生
全10学科



マナー講師によるセミナー

1日目

大学生としてのマナーと、 情報リテラシーを学ぶ

大学生の自律と成長を促すため、マナーの基本原則や他者への思いやりの大切さなどを学びました。また、SNSなどによるトラブルに巻き込まれないよう事例を交えながらインターネット・リテラシーの理解を深めました。さらに、18歳から成人年齢になることから生じるメリットやリスクなどについても触れました。



宿泊先へ向け、バスで移動

宿泊先までの移動中も新しい仲間と交流するチャンス。旅行気分も加わり、少しずつ緊張が解けていきます。



セミナー開催目的

一つのテーマについて各グループで議論し、自分の考えを伝えるとともに、相手の意見を受け入れる協調性を養います。共同作業を通じて意欲をもって主体的に勉学をするきっかけをつくり出します。信頼できる友人関係を形成することで大学生活への不安を払拭させます。

本セミナーは、大学生としてのマナーや情報リテラシーなどを大学で学んだ後、三河湾沿いの宿泊施設に移り、1泊2日でグループディスカッションやプレゼンテーションなどを体験します。新たな仲間や教員、先輩とのつながりを深めながら、これから始まる大学生活の充実を促します。

新入生たちの感想



友人をつくるきっかけとして、本セミナーは大いに役立っていると喜んでいました。また、同じ学科の先輩方と交流ができ、繋がりを持てたことがうれしかったという。

新入生のアドバイス役として 同行した、先輩グループの感想



先輩の中には、コロナの影響で本セミナーが開催されなかった世代もあり、入学時にこのようなセミナーがあることはとても有意義なことだと話す。

宿泊施設に到着

材料機能工学科は、三河湾リゾートリンクスでセミナーを行いました。

グループディスカッション



みんなで おいしい息抜き

ビュッフェ形式で会話も弾み、食事を楽しみながら友だちとの交流を深めました。



夕食



意見をまとめる

1チーム8名の意見をまとめて上げるのに苦慮しながら、自分たちの考えを1枚のポスターに集約していきます。

チーム内で役割を決め、 議論を交わす

テーマに対してグループメンバーと議論しながら、結論をまとめポスターを作成します。1グループに2人の先輩がフォローに加わり、活発な意見のやり取りが生まれました。



翌朝、さらに議論を深め発表

2日目は朝食を済ませディスカッションのつづきを行いました。議論を深め内容をブラッシュアップした後、プレゼンテーションを行い、優秀チームには賞が与えられました。その後、正午には大学に戻り、無事フレッシュマンセミナーを終えました。



プレゼンテーションを体験

チームでまとめた内容を発表。どうしたら効果的に自分たちの考えを伝えられるのか体験しました。1日目はここで終了です。

今年の優秀チーム



2日目

参加お申込み方法

本誌に同封されている「案内パンフレット」をご覧ください。また、ホームページよりお申込みください。

理工学部後援会ホームページ

▶ <https://www.meijo-rikokoen.jp/>



TOPページ→活動内容→ご父母のための進路セミナーへアクセス

ページ下段の申し込みフォームよりお申込みください。



対象者
理工学部
全学年の
ご父母

進路セミナースケジュール

1

全体懇談

理工学部後援会長、理工学部長、理工同窓会長のご挨拶に続いて、理工学部における最近の就職状況や大学院進学についてお話しします。



2

パネルディスカッション

キャリアセンターの担当者が就職活動の動向や大学としてのサポート体制の数々をご紹介します。昨年度はその後、3名の理工学部卒業生と株式会社リクルート松田氏をお招きし、就職活動や大学院進学などについてお話しいただきました。



大学施設を見学できる
学科別ツアーも開催予定!

3

学科別懇談

学科別の会場に移動した後、学科長ご挨拶に続いて、学科の教育方針や就職状況、大学院進学についての説明を行います。ご父母からの疑問・質問にお答えする時間をご用意しています。



理工学部生の就職事情や進学についての解説、学生との接点が多い大学職員によるディスカッションなど充実したセミナーで、毎年参加されるご父母もいらつやいます。
主な内容をご紹介します。

日時

令和6年6月29日(土) 13時～16時45分

会場

名城大学天白キャンパス
共通講義棟北1階名城ホール(N101)

目的

就職活動の現状を知る
大学院で学ぶ意義を考える



ライブ配信も実施します。※学科別懇談は配信しません

セミナー開催当日に後援会ホームページより動画を配信します。本誌に同封されている「案内パンフレット」に記載のパスワードを入力してご覧ください。



理工学部
後援会の
活動

2

ご父母のための
進路セミナー



就職・大学院進学の
現状を理解する絶好の機会

就職活動の現状を知る

インターネットもES（エントリーシート）もなかった親世代に対して、現在では、活発化するインターンシップや通年採用の動き、さらにはコロナ禍で定着したオンライン面接など、就職活動は様変わりしています。親として、未知なる子ども世代の就職活動に不安を感じるのも無理はありません。そこで当セミナーでは、就職活動全般の流れと大学の就職サポート体制、企業が求める人物像や学生たちの率直な思いなど、リアルでためになる情報をお伝えしていきます。

大学院で学ぶ意義を考える

一般には、大学卒業後は就職して社会に出るものと思われがちです。しかし、大学院へ進学するという道もあります。特に理工系においては、企業側が大学院卒を重用する傾向にあることから、就職を見据えた上で大学院に進学する学生が多く存在します。名城大学は大学院理工学研究科を備え、多彩な分野で最先端の研究を展開しています。名城大学大学院では学業成績および人物優秀な学生に対して奨学制度を設けており、セミナー当日は、大学院進学についての説明も行います。

社会が理工学生に求める力

登壇した卒業生3名からは就職活動で取り組んだことや苦労したことなどが語られました。また、就職してからはコミュニケーション能力や論理的思考チームワーク、自分の意見を言うことが必要になるので学生時代から身につけてほしいとの意見も出ました。リクルート松田氏からも基礎能力やリテラシーなどの重要性が語られ、父母は傾聴・見守り・尊重の態度でメンタル面の支援をすることが大切とのメッセージを発信されていました。



ご参加のご父母の方々からQRコードを使用しての質問も受け付けました。



社会情勢は年々変わっていくので毎年参加する予定

今2年生で、去年に続けての参加です。社会情勢が1年で激変する昨今なので、最新の就職情報を得ることができるのが有難いです。

大学側の真摯な取り組みを実感できました

大学院に進む予定です。大学側が子どもの進路や将来について、万全の体制で支えてくれていることを再確認できました。

Voice 進路セミナーに参加いただいたご父母の声

大学の雰囲気や直接知る貴重な機会

子どもが通う学内の様子を一度見ておきたくて、参加しました。緑が多く校舎もきれいで、息子が楽しく通っているのも納得です。

大学院か就職かを選ぶ際に情報を整理できます

1年生の親ですが、今後、大学院か就職かを本人も迷っている様子。今回参加したことで、親子で話し合うべき内容が整理できました。

進路について親子で話し合うきっかけに

息子は2年生。将来について話す時間がなかなか持てずにいますが、これを機会に進路について親子でゆっくり話すつもりです。



建築学科4年 成瀬 太介さん

建築に興味を持ったきっかけは小学生の頃、テレビでやっていた家のリフォーム番組。ものづくりの醍醐味を感じ、毎週欠かさず見ていました。大学では木造建築の耐震性・安全性を扱う松田研究室に所属、先輩たちの報告会を聞くうちに構造系に進むことを決意し、設備会社へ就職を決めました。将来は一級建築士や一級管工事施工管理技士の資格を取得して建築のプロを目指したいと考えています。

私のお気に入り

大型実験室は大きな実験装置があり、迫力があってワクワクします。

9:00

登校

毎朝6時半ごろに起床、名古屋市内から地下鉄を乗り継いで40分ほどかけて登校しています。

10:30

必修単位は3年次までに全て取得したので、大学では主に研究室の実習に参加したり、卒論の作成に取り組んでいます。卒論のテーマは「ケーブルラックの耐震性・安全性の向上」です。

研究室で卒論作成

12:30

とんかつ弁当
おいしい!

ランチタイム

今日のランチはタワー75のお弁当屋さんで買ってきました。研究室と同じフロアにあるリフレッシュルームで研究室の友人と食べます。

建築学科4年生、成瀬太介です。両親と姉二人の5人で暮らしています。設備会社にて内定が決まり、今は卒論の準備とアルバイトで充実した日々を過ごしています。私の学生生活の1日をお伝えします。

16:30

木造耐力壁の強度実験

そろそろ
限界かな。



研究室4年生たちで作った木造の耐力壁をジャッキで加力していき、その耐久性を検証します。

実験室で実習の準備

14:00

午後は木造建築の強度を検証するため、実験室で準備に取り掛かります。研究室に所属したばかりの3年生に実験内容について説明をしました。

19:00

帰宅

アルバイトでも飲食店のキッチンを担当するほどの料理好き。帰宅後は自分で夕食を料理することも。家族に振る舞うこともあります。

25:00

就寝

夕食後は予習や復習、ToDoリストを作ったりして過ごします。25時ごろ就寝します。

作業服、ノートパソコン、卒論用のファイル、関数計算機など卒論や実習に必要な道具が入っています。

カバンの中身は?



キッチン、
うまかったです!

地区懇談会



先生方とじっくり話せる
貴重な機会

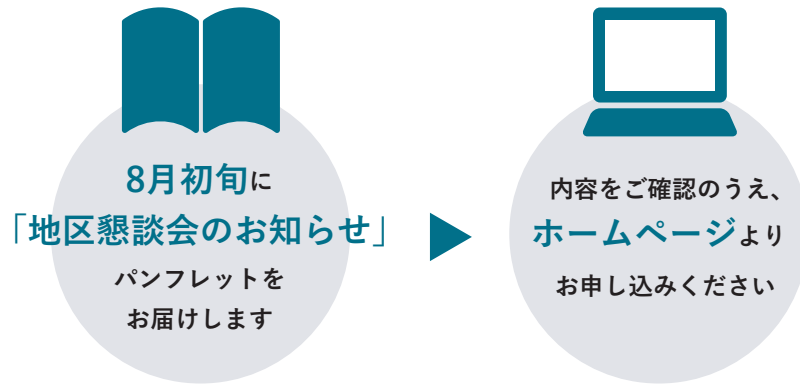
参加お申込み方法

8月初旬に郵送されるパンフレット「地区懇談会のお知らせ」をご覧ください。ホームページよりお申込みください。

理工学部後援会ホームページ

▶ <https://www.meijo-rikokoen.jp/>

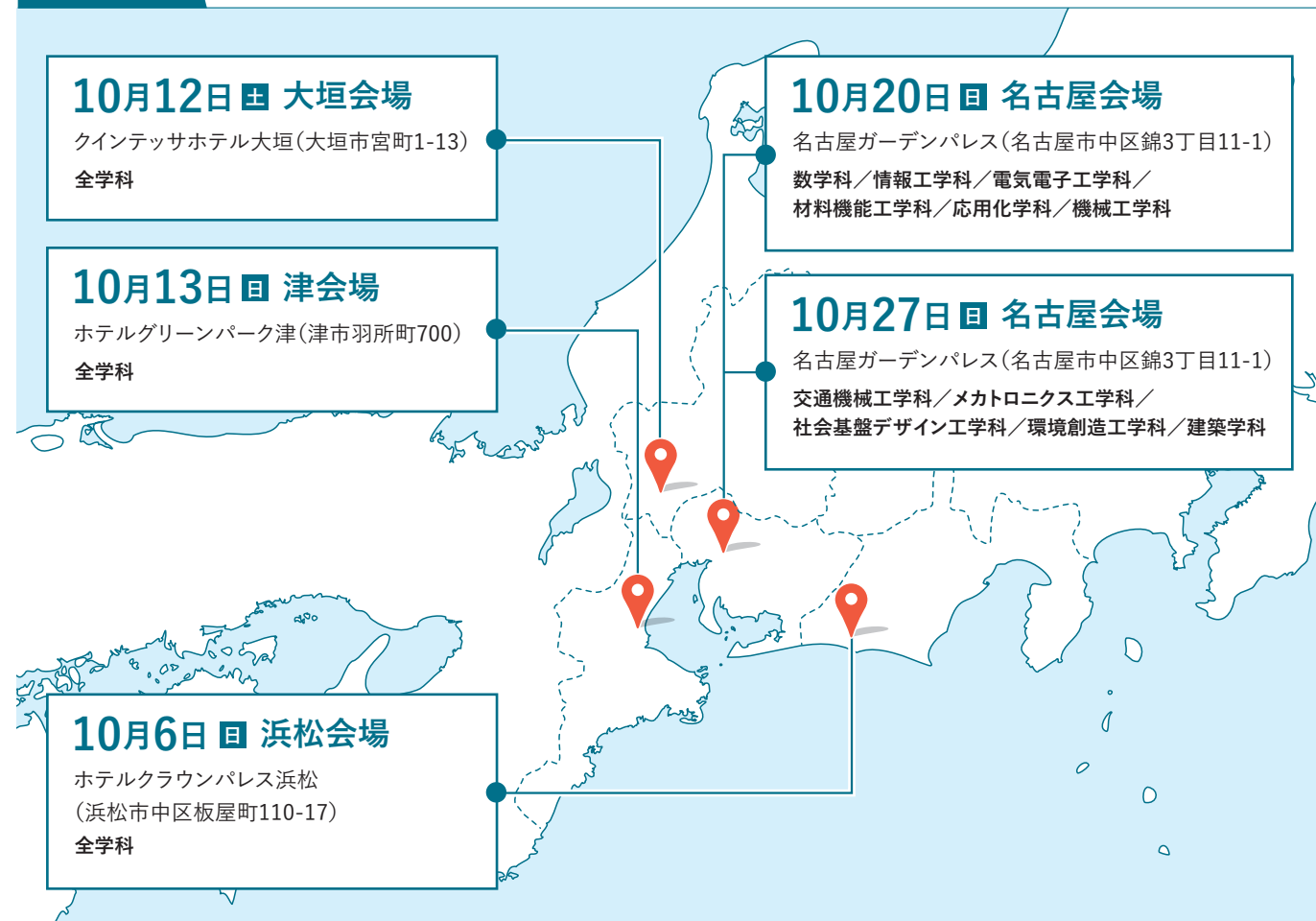
※時間ならびに懇談教員の指定はできませんので、ご了承ください。



対象者
理工学部
全学年の
ご父母

学生の
参加は
不可

対面懇談



会場へのアクセスはP28をご覧ください。



地区懇談会は、学部の方の協力のもとに実施しています。
ご父母の皆さまと先生方が直接、交流を深める貴重な機会となります。
今年度も対面と電話の二つの形式で開催します。

対面懇談と電話懇談をお選びいただけます。

日時等の詳細は次ページをご覧ください。



対面懇談

先生方と会場にて直接会って
じっくりお話しすることができます。



電話懇談

先生方とご自宅にて電話で
じっくりお話しすることができます。



電話懇談

10月26日 土 全学科



対面懇談 会場のご案内

アクセス良好な各会場にて、ご子弟の成績や進路希望などについて先生方とお話できます。

名古屋会場

10月20日(日)10:00-16:00／数学科／情報工学科／電気電子工学科／材料機能工学科／応用化学科／機械工学科
10月27日(日)10:00-16:00／交通機械工学科／メカトロニクス工学科／社会基盤デザイン工学科／環境創造工学科／建築学科



名古屋ガーデンパレス
名古屋市中区錦3丁目11-13
Tel.052-957-1022
「栄駅」1番出口より徒歩約5分
「伏見駅」1番出口より徒歩約8分



浜松会場

10月6日(日)10:00-13:00
全学科

ホテルクラウンパレス浜松

浜松市中区板屋町110-17
Tel.053-452-5111



大垣会場

10月12日(土)10:00-13:00
全学科

クインテッサホテル大垣

大垣市宮町1-13
Tel.0584-84-3730



津会場

10月13日(日)10:00-13:00
全学科

ホテルグリーンパーク津

津市羽所町700
Tel.059-213-2111



Voice

地区懇談会に参加いただいた ご父母の声

昨年の電話懇談に続き、 対面懇談に参加

昨年は電話懇談でしたが、今年は直接先生と話ができる対面懇談に参加しました。貴重な機会なので来年も参加したいと思います。

先生と直接話せて 今後の参考になりました

企業の内定スケジュールが年々早期化しているため、どのタイミングで活動をしたら良いかなど先生と直接話すことができ参考になりました。

今後のことを考える 指針になりました

単位取得など今後の見通しなどについて知りたいと思い参加しました。先生の意見を聞いて、今後の進め方の指針になりました。

具体的なアドバイスが 参考になりました

高校のように定期面談があるわけではないのでこのような機会があってありがたいです。具体的な話ができてよかったです。

学ぶ様子が わかって安心

普段の学ぶ様子が先生から聞けて安心しました。大学院の進学が決まりましたが、就職についても話をしようと思います。



地区懇談会 スケジュール

1

ホームページ掲載の動画を事前に視聴

9月中旬ごろ公開予定

「理工学部後援会長・学部長ご挨拶」「教務および就職関係説明」の動画を事前にご視聴ください。

※視聴には、パスワードが必要です。

※パスワードは8月初旬に郵送されるパンフレット「地区懇談会のお知らせ」に明記します。



2

対面懇談

- 「参加票」に記載の集合時刻に各会場へお越しください。
- 個別懇談／20分程度**
ご子弟の学科の先生と懇談します。



電話懇談

- 「成績表」をお手元にご用意ください。
※成績表は、9月中旬に別途緑色の封筒でお届けします。
- 「電話懇談時間確認票」に記載された日時に、登録されたご父母の電話番号へ担当の先生が直接お電話します。
- 電話懇談／20分程度**
ご子弟の学科の先生と懇談します。



家庭教育支援 セミナー



多感な青年期の
心の理解を深める

対象者
理工学部
全学年の
ご父母

ご父母の皆さまに、家庭教育の重要性について再確認していただくとともに、ご子弟の悩みごとに対応する能力を身につけていただくことを目的として、講演会や、学内での心理学講座を実施しています。ぜひとも活用ください。

参加お申込み方法

本誌に同封されている「案内パンフレット」をご覧ください。ホームページよりお申込みください。

理工学部後援会ホームページ

▶ <https://www.meijo-rikokoen.jp/>



TOPページ→活動内容→
家庭教育支援セミナー・心理学講座へアクセス



ページ下段の申し込みフォームより
お申し込みください。

家庭教育支援セミナー講演会

優秀な講師を大学にお招きし、気軽な講演会、フリーディスカッションなどを通じて家庭教育の重要性を認識していただきます。ご父母の皆さまが身近な相談役としてご子弟の悩みなどに対応する能力を身につけていただくことを目的としています。

毎年多くのご父母の方が参加されるセミナーは2回とも受講できますので、よりいっそう内容が深まり、参考にしていただけます。

講演 テーマ 偏見と差別 ～その解消に向けて

講師 吉澤 寛之 先生

岐阜大学大学院 教育学研究科 教授
学位/博士(心理学)
専門/社会心理学



【主要論文】
◎吉澤寛之・吉田俊和・中島 誠・吉田琢哉・原田知佳 (2019).
地域住民の関与・雰囲気が集会的有能感を介して子どもの反社会性に及ぼす影響
一層化抽出法を用いたマルチレベル分析による検討— 応用心理学研究, 45(1), 35-46.
◎吉田琢哉・吉澤寛之・浅野良輔・玉井颯一・吉田俊和 (2020).
地域に根ざした学校運営におけるチームワーク尺度の作成 —保護者の視点からの検討—
教育心理学研究, 68(2), 147-158.

日程 令和6年7月7日(日)
ナゴヤドーム前キャンパス 西館レセプションホール

【講演】13:00～14:20 【質疑応答・フリーディスカッション】14:30～15:00 【受講料】無料

講演 テーマ 現代家族における 心の葛藤

講師 平石 賢二 先生

名古屋大学大学院
教育発達科学研究科 教授
学位・資格/博士(教育心理学)・臨床心理士、
公認心理士
専門/生涯発達心理学



【著書】
◎新・青年心理学ハンドブック 福村出版 2014年(共編著)
◎君の悩みに答えよう—青年心理学者と考える10代・20代のための生きるヒント 福村出版 2017年(共編著)
◎心の専門家養成講座第7巻 学校心理臨床実践
ナカニシヤ出版 2018年(共編著) ほか多数

日程 令和6年7月14日(日)
ナゴヤドーム前キャンパス 西館レセプションホール

家庭に活かす心理学講座

当講座は心理学を中心とした内容をご父母の皆さまにご提供し、それをご家庭に活かしていただき、よりいっそうの教育力向上を目指す目的で開設されました。心理学については初学者にもわかりやすく、初歩から解説します。

心理学等の学問的内容の理解をし、家庭教育に活用していただくことは重要ですが、さらにこの講座を受講したことにより、ご父母世代の「自分探し」、また子育てが終わってからの、これから続いていく質の高い人生への手掛かりとしていただけます。

担当講師

吉住 隆弘 先生
中京大学 心理学部
心理学科 教授

鈴木 亮子 先生
椋山女学園大学 人間関係学部
心理学科 教授

吉田 琢哉 先生
岐阜聖徳学園大学
教育学部 准教授

川島 一晃 先生
椋山女学園大学 看護学部
看護学科 准教授

信太 寿理 先生
愛知学泉大学 家政学部
子どもの生活学科 准教授

後藤 綾文 先生
岐阜聖徳学園大学
教育学部 准教授

酒井 麻紀子 先生
愛知教育大学 教育科学系
心理講座 助教

日程 令和6年7月～令和7年2月 全16回 天白キャンパス研究実験棟IV101など

【受講時間】各回13:00～16:15(休憩15分) 【定員】30名(一度当講座を受講されたご父母はお申込みできません)

【受講料】無料(別途教材費がかかる場合があります)



令和5年度 理工学部後援会 学生奨励制度表彰

(学年は令和6年2月現在のもの)

学術関係					
数学科	3年 舘 和也	3年 小林 唯人	交通機械工学科	3年 塚本 拓海	3年 小林 寧生
	3年 真弓 優華	3年 高倉 怜也		3年 皆川 陸斗	3年 日下部嘉亮
情報工学科	3年 鈴木 彩加	3年 白石 光里	メカトロニクス工学科	3年 梶山 ビートル	3年 伊藤 大貴
	3年 六鹿 太智	3年 加藤 駿一		3年 高井 秀悟	3年 荒井 優希
電気電子工学科	3年 伊奈田翔太	3年 佐々木皇南	社会基盤デザイン工学科	3年 太田 愛瑠	3年 安立 雄飛
	3年 星野 太陽	3年 山下 航大		3年 白木 敦基	3年 岩口 華之
材料機能工学科	3年 宮本 侑茉	3年 川松夕有香	環境創造工学科	3年 中島 蓮	3年 蔵藤 里奈
	3年 榊原 愛	3年 福島 瑚子		3年 一柳 勇斗	3年 伊藤 諒
応用化学科	3年 滝川 颯太	3年 小林 千明	建築学科	3年 福田 翔也	3年 向井 航希
	3年 内藤 圭昭	3年 砂子 遥真		3年 成瀬 太介	3年 藤原 李楓
機械工学科	3年 小川 雅人	3年 若杉 洋正			
	3年 脇口 絢多	3年 小関 悠太			

スポーツ関係

表彰者選出基準1

●体育会アメリカンフットボール部

岩崎 太亮 社会基盤デザイン工学科1年

小西 天翔 材料機能工学科1年

東海学生アメリカンフットボール1部リーグ戦 優勝

●体育会弓道部

熊谷 斗和 電気電子工学科3年

塚本 直大 メカトロニクス工学科3年

今井 章人 応用化学科2年

岡田 琉 機械工学科2年

谷口 輝 機械工学科2年

中野 拓磨 メカトロニクス工学科2年

宮崎 圭佑 材料機能工学科2年

吉兼 亮介 数学科2年

伊藤 亘祐 材料機能工学科1年

稲垣 晟 機械工学科1年

内山 隼輔 交通機械工学科1年

林 隆雄 建築学科1年

第67回東海学生弓道秋季リーグ戦 優勝

●体育会硬式野球部

飯田 琢雅 社会基盤デザイン工学科2年

2023年度秋季リーグ戦 優勝

●体育会ライフル射撃部

大森 晴空 情報工学科3年

豊田 一真 環境創造工学科3年

第102回中部学生スポーツ射撃選手権大会 優勝

第45回中部女子学生スポーツ射撃選手権大会 優勝

●体育会バーベルトレーニング部

高田 康平 建築学科4年

第34回中部学生秋季パワーリフティング選手権大会93kg級 優勝

佐藤 匠真 メカトロニクス工学科2年

第34回中部学生秋季パワーリフティング選手権大会59kg級 優勝

石黒 隆之介 建築学科1年

第34回中部学生秋季パワーリフティング選手権大会66kg級 優勝

表彰者選出基準2

●体育会バーベルトレーニング部

高田 康平 建築学科4年

文部科学大臣杯争奪 第50回全日本学生パワーリフティング選手権大会 優勝

文化関係

表彰者選出基準2

●エコノパークラブ

本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ2023 3位

光岡 日菜子 電気電子工学科4年

齋藤 令次 電気電子工学科4年

坂井 泰吾 電気電子工学科4年

村田 晴彦 電気電子工学科4年

第6回電気工学教材企画コンテスト 最優秀賞

寺野 匠 電気電子工学科3年

清水 龍一 電気電子工学科3年

第6回電気工学教材企画コンテスト 日本電気協会賞

光岡 日菜子 電気電子工学科4年

齋藤 令次 電気電子工学科4年

古川 陽一 電気電子工学科4年

食品パッケージ画像解析チャレンジ 3位

山下 滉太 電気電子工学科4年

光岡 日菜子 電気電子工学科4年

齋藤 令次 電気電子工学科4年

伊藤 心太 電気電子工学科4年

日高 聡希 電気電子工学科4年

坂井 泰吾 電気電子工学科4年

HackU Happy Hacking賞・最優秀賞



学生奨励制度は、学術・スポーツ・文化の各分野においてめざましい活躍をしたと認められる理工学部在籍の学生たちを後援会が表彰するものです。

令和5年度は、個人57名・5団体が選ばれました。

名城大学理工学部後援会 学生奨励制度表彰規定

- 目的 ……………この制度は、名城大学理工学部の学生で、人物・学業共に、優れた者あるいはスポーツ並びに文化活動において、大学の名声をとくに広めた者に対し、その功績をたたえとともに、本人をはじめ他の学生の今後の励みになることを念願して設立する。
- 適用範囲 ……………名城大学理工学部在籍する学生。
- 審査方法及び機関 ……………理工学部長の推薦により、理工学部後援会福利厚生委員会において審議決定する。
- 審議時期 ……………適時
- 奨励方法 ……………表彰状並びに副賞(記念品)とする。
- ① 表彰者選出基準

区分	資格	基準	年間引当数
学術関係	個人	3・4学年に在籍する者のうち、人物・学業共に優秀な学生で各学科ごとに推薦された者。	1学科4名以内
スポーツ関係	個人又は団体	1 名城大学体育運動部に所属し、東海大学選手権大会又はリーグ戦等に於いて優勝したチーム。又は個人。	若干名
		2 全国的規模における競技会に於いて3位以上に相当する賞を受けた個人又は団体。 3 前1・2号優勝者以外で個人賞として特別に表彰された者。 4 体育会運動部主将として著しく部の発展に貢献した者。但し在学中一回限りとする。	
文化関係	個人又は団体	1 名城大学文化クラブに所属し、東海又は中部大会以上の競技会に於いて優勝した個人又は団体。	若干名
		2 前号以外で、全国的規模における競技会に於いて3位以上に相当する賞を受けた個人又は団体。	

- ②上記区分以外で、会長若しくは学部長の推薦により、後援会福利厚生委員会が妥当と認めた者に対しても、上記区分に該当する者と同様に表彰することができる。
- ③前項①②共、後援会費納入会員の子弟とする。

- 表彰方法 ……………表彰者氏名及び該当事項を公示し、後援会委員会の席上において表彰する。
- 施工期日 ……………昭和57年4月1日付をもって施行する。
附則 平成5年10月21日 一部改正 平成10年3月24日 一部改正 平成11年6月4日 一部改正 平成25年1月30日 一部改正 以上

理工学部
後援会の
活動

5

学生奨励表彰



学生たちの健闘と成果を
こころより祝福

こんにちは、理工学部後援会事務局です

理工学部後援会事務局は常勤職員3名が常駐しています。事務局は11号館2階(11-221室)にあります。後援会に対して、ご意見などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。また、ご子弟の学生生活等について、不安などありましたらご相談に応じます。家計が急変された方も遠慮なくご相談ください。なお、ご相談内容については秘密厳守いたしますので、ご安心ください。



林 友美
契約職員

後援会事務局には、学生さんや先生方ほか、様々な方が訪ねていらっしゃいます。皆さまのお役に立てるよう、仕事に励んでいます。



吉本 直美
会計幹事(事務局次長)

後援会業務以外にも研究者としての一面も持っています。人間科学(博士)の学位を取得し、心理学の非常勤講師として理工学部の学生さんに講義もしています。また、自己研鑽に忙しいながらも趣味の時間も大切に、エネルギーに活動しています。



堀 一貴
事務局長

人と話すこと、人と関わることが大好きな、明るい性格です。笑うことを第一に考え、落語や漫才などを聴いて、皆さまに笑ってもらえる話術を勉強しています。吹奏楽については、名城大学ではおそらく一番詳しいとの自負もあります。aikoファンであり、ライブの時に派手に踊っている姿は普段からは想像できません。また熱心な中日ドラゴンズのファンです。

事務局の連絡先

Tel & Fax 052-831-9214

E-mail jimukyoku@meijo-rikokoen.jp

公式HP お問い合わせ専用入力フォームをご利用ください。
<https://www.meijo-rikokoen.jp/>



わからないこと、気になること、心配事は、こちらへご相談ください

ご父母の
相談窓口

理工学部
後援会事務局

Tel 052-831-9214 (直通)
「11号館」2階
月～金曜日 9:00～17:30

学生の健康相談
こころの相談

保健センター

Tel 052-838-2031 (直通)
「本部棟」1階
月～金曜日 8:50～21:00
(土曜日は17:20まで)

学生の進路
キャリアプランの相談

キャリアセンター

Tel 052-838-2040 (直通)
「タワー75」4階
月～金曜日 8:50～17:20

成績・履修
などの相談

学務センター
(理工学部)

Tel 052-838-2023 (直通)
「タワー75」3階
月～金曜日 8:50～17:20

奨学金
などの相談

学務センター
(生活支援G)

Tel 052-838-2028 (直通)
「タワー75」4階
月～金曜日 8:50～18:30
(授業・試験期間以外は17:20まで)

窓口によっては、時期により受付時間が変更になる場合があります。詳しくは名城大学HPをご確認ください。

令和6年度

名城大学カレンダー

2024 2025
7月～3月

最新情報は名城大学HPをご覧ください。
<https://www.meijo-u.ac.jp/>

2024 7月 22日 前期授業終了日
25日～31日 定期試験
20日、21日 オープンキャンパス
(ドーム前キャンパス)

8月 1日～5日 定期試験
3日、4日 オープンキャンパス
(天白キャンパス)
未定 夏季集中講義期間
8日～17日 窓口閉鎖期間
中旬～下旬 定期試験成績発表
下旬 追・再試験

9月 上旬 追加履修登録期間
14日 後期授業開始日
22日 開学記念日
下旬 9月卒業式

10月 31日 大学祭準備

11月 1日、2日 大学祭
3日 大学祭後片付け

12月 14日 TOEICテスト(3年生)
27日 年内授業終了日
28日～1月4日 窓口閉鎖期間

2025 1月 6日 授業再開
11日 後期授業終了日
17日 大学入学共通テスト準備
18日～19日 大学入学共通テスト
14日～25日 定期試験

3月 中旬 卒業式

その他の活動紹介

理工学部後援会では、本誌面でご紹介してきた諸活動のほか、様々な支援・援助活動を行っています。



理工学部後援会 定期総会の開催

令和6年4月27日(土)15時から令和6年度名城大学理工学部後援会定期総会を開催いたしました。一般の会員ご父母には、会場またはライブ配信にてご参加いただきました。議案はすべて可決され、令和6年度の会長には、神谷浩基氏(社会基盤デザイン工学科4年父母)が選出されました。



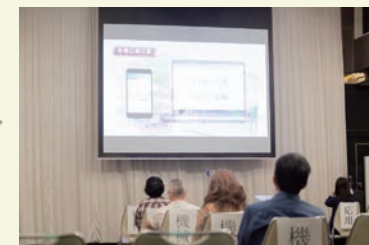
理工学部後援会ホームページの制作

後援会活動や大学についての最新情報を迅速にご父母の皆さまに提供するため、ホームページを制作しております。「ご父母のための進路セミナー」、「地区懇談会」、「家庭教育支援セミナー」への参加お申込みもホームページから行うことができますので、ぜひご利用ください。



会報誌「Scope」の発行

後援会活動の紹介、各学科の教員および研究室の紹介、ご子弟の活動の様子、ご父母の皆さまの声を掲載しています。



地区懇談会での動画上映

理工学部 紹介動画・DVDを制作

大学の様子を撮影し、名城大学理工学部を紹介する動画を制作しています。この動画は毎年開催される地区懇談会などで上映したり、DVDをご父母に貸し出したりしています。



TOEIC® 受験援助

令和6年12月14日(土)に本学で実施するTOEIC-IP試験は、後援会の援助によって理工学部3年生全員が無料で受験できます。



社会基盤デザイン工学科学位授与式(令和6年3月)

卒業記念品贈呈・ 卒業パーティー援助

会員ご子弟の卒業生全員に対し記念品を贈呈しています。

難関資格取得者に記念品を贈呈

学生が取得した資格の中で、難関資格を取得した学生に対し記念品を贈呈します。

学会発表の援助

学会や研究会で発表する学生へ旅費や参加費を援助しています。

学生用図書への援助

学生の勉強の参考となる図書の購入を援助しています。



Meijo University
Faculty of Science and Technology.
Supporters' Association.

今号よりデザインをリニューアルしました。

SCOPE vol.51

名城大学理工学部後援会 会報誌 2024「SCOPE VOL.51」

令和6年5月25日発行

編集 名城大学理工学部後援会 編集担当委員会

制作・印刷 株式会社ブリアートコーポレーション

発行 名城大学理工学部後援会事務局

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口 1-501

TEL: 052-832-1151 (内線2580) TEL・FAX (直通): 052-831-9214

E-MAIL: jimukyoku@meijo-rikokoen.jp

<https://www.meijo-rikokoen.jp/>

名城大学理工学部後援会

検索



表紙イラスト：嶋田里英

1994年生まれ、東京都在住のイラストレーター。

2019年早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻卒業。建築意匠設計職を経て、フリーのイラストレーターとして活動中。SCOPE51号では名城大学のシンボル、タワー75の最上階である15階から理工学部生が通う研究実験棟を望む風景をイラスト化しました。